

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 総合的な探究の時間 科目

教科: 総合的な探究の時間 科目: 0 単位数: 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者: (1組:伊東・飯川) (2組:和田・植竹) (3組:高橋・小川) (4組:中西・久保寺) (5組:市川・鈴木) (6組:田口・寺田)

使用教科書: (人間と社会〔東京都教育委員会〕)

教科 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自分で課題を立て、情報を集め、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 学ぶことの意義 【知識及び技能】 ・卒業後の進路について、どのような選択肢があるのか、大学等の高等教育では何が学べるのかなどの知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 卒業後の進路について、情報を収集し、まとめ・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 卒業後の進路について主体的に考え、自分自身の在り方や社会との関わり視点から学ぶことの意義を見出そうとする態度を養う。	・指導事項 ①探究担当者による進路講話 ②学問・学科研究 ③適性診断・学校探し ④オープンキャンパス事前指導 ⑤オープンキャンパス予約 ・教材 ①教科書 ②ワークシート ③キャリアパスポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・卒業後の進路について、どのような選択肢があるのか、大学等の高等教育では何が学べるのかなどの知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 卒業後の進路について、どのような選択肢があるのか、大学等の高等教育では何が学べるのかなど、情報を収集し、まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 卒業後の進路について主体的に考え、自分自身の在り方や社会との関わり視点から学ぶことの意義を見出している。	○	○	○	10
	B 働くことの意義 【知識及び技能】 ・将来の職業について、自らの関心や適性に合う職業についてや、希望する職業に就くために必要な勉強・資格について、知識を身に付けさせる。 ・就労し経済的に自立するという点について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の職業について、情報を収集するとともに、自己の関心や適性を分析し、まとめ・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の職業について主体的に考え、自らの人生設計を行うとともに、社会への貢献という観点からも働くことの意義を見出そうとする態度を養う。	・指導事項 ①ホランド適職検査 ②職業調べ ③ライフサイクルゲーム ・教材 ①教科書 ②ワークシート ③キャリアパスポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・将来の職業について、自らの関心や適性に合う職業とは何か、希望する職業に就くための資質について、知識を身に付けている。 ・就労し経済的に自立するという点について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の職業について、情報を収集するとともに、自己の関心や適性を分析し、まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の職業について主体的に考え、自らの人生設計を行うとともに、社会への貢献という観点からも働くことの意義を見出している。	○	○	○	10
2 学 期	C 文化の多様性 【知識及び技能】 ・世界には様々な文化が存在すること、異なる文化的背景をもつ外国人が多く東京に集まっていることについて知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の多様な文化について、情報を収集し、まとめ・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・異なる文化をもつ人々と交流することで、それぞれの文化の良さを認め合い、多様性を受け入れようとする態度を養う。	・指導事項 ①異文化調べ・発表 ②近隣大学の留学生と交流 ・教材 ①教科書 ②ワークシート ③キャリアパスポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・世界には様々な文化が存在すること、異なる文化的背景をもつ外国人が多く東京に集まっていることについて知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の多様な文化について、情報を収集し、まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・異なる文化をもつ人々と交流することで、それぞれの文化の良さを認め合い、多様性を受け入れようとする態度を身に付けている。	○	○	○	15
	D 国際平和を築く 【知識及び技能】 ・過去あるいは現在の世界で起こった戦争や紛争について、原因や経過や結果、そしてその惨禍について知識を身に付けさせる。 ・戦争や紛争を防ぐ国際社会の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・沖縄戦について、情報を収集し、まとめ・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦争や紛争の惨禍について関心を	・指導事項 ①沖縄戦についての調べ学習 ②国際平和の構築に関するディベート活動 ・教材 ①教科書 ②ワークシート ③キャリアパスポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・過去あるいは現在の世界で起こった戦争や紛争について、原因や経過や結果、そしてその惨禍について知識を身に付けている。 ・戦争や紛争を防ぐ国際社会の取り組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・沖縄戦について、情報を収集し、まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦争や紛争の惨禍について関心をもって学び、国際平和の構築に寄与する市民としての態度を身に付けている。	○	○	○	15

	もって学び、国際平和の構築に寄与する市民としての態度を養う。						
3 学 期	<p>E 自然と人間の関わり</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて知識を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて、情報を収集し、まとめ・表現させる。 自らの関心に沿って探究した内容をプレゼンテーションする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて、自分ができることを考え、貢献しようとする態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <p>①SDG s の各ゴールについての調べ学習</p> <p>②プレゼンテーション</p> <p>・教材</p> <p>①教科書</p> <p>②ワークシート</p> <p>③キャリアパスポート</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて知識を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて、情報を収集し、まとめ・表現している。 自らの関心に沿って探究した内容をプレゼンテーションしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDG s の17ゴールについて、自分ができることを考え、貢献しようとしている。 				15
							65

都立紅葉川高等学校令和5年度 総合的な探究の時間 年間授業計画

教科：総合的な探究の時間 単位数：2単位

対象学年組：第3学年（1組～6組）

教科担当者：（A：上田）（B：小川）（C：植竹）（D：松崎）（E・H・J：鈴木）（F：永易）（G：谷口）（I：小久保）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	総合的な探究の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	(SDGsについて) (17のゴールを振り分け) 自分の興味・関心を探る (アンケート、話し合いなど)	年間学習計画を学年全体に発表し、当該時間の意図を伝える。	・SDGsの意味を理解し、今後の探究活動について展望することができたか。 ・テーマ決めの話し合いをスムーズに行うことができたか。	2
	SDGs 17のゴールの中で、分担したテーマの下調べ	ワークシートを用いて教員と生徒の意志の疎通、学習状況の可視化を図る。 課題設定のための動機付けとして取り入れる。		4
5月	分担テーマの発表活動	課題設定のための動機付けとして取り入れる。	・自分が担当するテーマについて、下調べがきちんとできたか。 ・テーマの趣旨を皆が理解できるように、適切な発表が出来たか。	2
	探究学習会 探究テーマ設定のための自主活動	課題設定の進行状況を確認し、適宜個別指導を行う。		4
6月	探究学習会	設定した探求テーマを報告する。 レポート用紙で報告する。	・ワークシートにより活動内容を確認する。 ・他人の発表を聞き、SDGsについて理解を深め、自分が今後取り組むテーマを決めることが出来たか。	4
	「探究テーマ報告会」 「探求テーマ質問会」	グループワークで互いのテーマについて質問し合い、今後の探究のヒントにする。		4
7月	課題を探究する自主活動	自分の設定した課題について、情報収集を行う。 様々な視点から、問題を掘り下げて、発表準備を行う。	・ワークシートにより活動内容を確認する。 ・情報収集、研究を計画的に行い、様々な視点で問題について総合的に考察することが出来たか。	2
8月				
9月	課題を探究する自主活動	自分の設定した課題について、情報収集を行う。 様々な視点から、問題を掘り下げて、発表準備を行う。	・ワークシートにより活動内容を確認する。 ・情報収集、研究を計画的に行い、様々な視点で問題について総合的に考察することが出来たか。	6
10月	探究学習会 「探求成果中間報告会」	今までの探究活動の成果を報告する。 新しい着眼点、発想を確認する。 報告はレポートとパワーポイントを活用する。	自分の研究成果をわかりやすく発表できたか。	3
	発表学習会のための資料作成		他人の発表を聞き、新しい着眼点、発想を理解できたか。 提出されたレポートとパワーポイントを評価材料とする。	3

	指導内容	総合的な探究の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	「学習発表会」の実施 ゼミ内発表→代表者選出 曜日別発表→代表者選出	作品を提示しながら、発表を行う。 他人の発表を聞き、評価する。	パワーポイント、レポート による評価をする。 発表の仕方、発表の状況自 体も評価の対象とする。	8
12 月	全体発表 1年間の総まとめ	探究した内容、発表後のフィードバックを得て感じたこと、考えたことなどを レポートにまとめる	学習の成果を十分発表でき たか。 探究した内容、発表後の フィードバックを含めて、 自分の探究活動をきちんと まとめられたか。 パワーポイント、レポート による評価をする。	4
1 月	1年間の総まとめ	1年間の活動の総まとめをする	発表の成果をまとめ、自己 評価できたか。	2
2 月				
3 月				